

- 問1 7世紀前半に栄えた、日本で最初の本格的な仏教文化を何という？
- 問2 672年に天智天皇の死後、後継をめぐって起きた内乱を何という？
- 問3 推古天皇の時代、中国へ進んだ制度や文化を学ぶために派遣された使節を何という？
- 問4 蘇我氏を倒したあとの大化の改新で、土地や人民をすべて天皇のものとする政治のしくみを何という？
- 問5 聖徳太子が、中国の隋から進んだ政治制度や文化を学ばせるために派遣した人物は誰？
- 問6 663年に日本軍が朝鮮半島で唐・新羅の連合軍と戦い、大敗した戦いを何という？
- 問7 中大兄皇子らが中心となり、豪族が支配する政治を改め、天皇中心の国家を目指した政治改革を何という？
- 問8 663年、日本軍が唐・新羅の連合軍に敗れ、百済の復興に失敗した戦いを何という？
- 問9 天皇に権力を集中させ、全国を統一的に支配する国づくりを目指す体制を何という？
- 問10 十七条憲法において、政治の指針として取り入れられた、インドで生まれ朝鮮半島を経由して伝わった宗教は何？
- 問11 壬申の乱で敗れた大友皇子の父であり、大津宮へ遷都した天皇は誰？
- 問12 飛鳥文化を象徴し、聖徳太子によって建立されたとされる奈良県にある寺院は何？
- 問13 百済などの朝鮮半島諸国から、高度な技術や学問を持って日本へ移り住み、飛鳥時代の国づくりに貢献した人々のことを何という？
- 問14 壬申の乱に勝利して即位し、天皇中心の国づくりを進めた天皇は誰？
- 問15 日本が隋や唐の国家体制を手本にして、後に整えていった法典に基づく統治のしくみを何という？
- 問16 604年に十七条憲法を制定し、役人としての心構えや道徳を説いた人物は誰？
- 問17 聖徳太子が、役人たちの道徳や政治の心得として定めた法令を何という？
- 問18 奈良県の法隆寺などが代表する、現在世界で最も古い建物群のことを何という？
- 問19 天智天皇の死後、大友皇子と大海人皇子の間で跡継ぎをめぐって起こった大規模な内乱を何という？
- 問20 大津宮で政治を行った天智天皇が作成した、日本で最初の全国的な戸籍を何という？
- 問21 中国の隋や唐の制度を手本として、古代日本で編纂・施行された国家の基本となる制度を何という？
- 問22 天智天皇が全国的な統治を強化するために初めて作成させた、国民の名前や本籍を記録した台帳を何という？